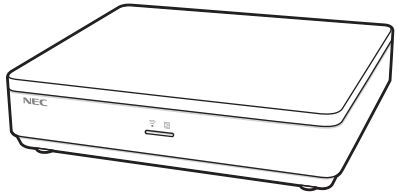
ワイヤレステレビチューナ

セットアップガイド

ワイヤレステレビチューナはデジタル放送を受信して無線 LAN で送信する機器です。

本書ではデジタル放送をタブレット端末で視聴できるまでの手順を説明しています。かならず本書を読んでから正しく安全に使用してください。
また、本書は読んだあとも大切に保管しておいてください。

内容品の確認

□チューナ ×1

※側面に保護フィルムが貼られています。ご利用の前に保護フィルムをはがしてください。

□AC アダプタ ×1

□電源ケーブル ×1

□miniB-CAS カード ×1
（使用許諾契約書 添付）

□無線 LAN に関するご注意 ×1
（シール）

☑セットアップガイド（本書）×1

アンテナケーブル、LAN ケーブル、録画用ハードディスクは付属していません。別途準備してください。

各部の名称と機能

前面

無線LAN ランプ
ネットワークの通信状態を示します。

赤	点灯：通電中	
	点滅：システムエラー	
緑	点灯：無線 LAN 接続中	
	点滅：リセット完了	

テレビランプ
アプリとの通信状態を示します。

消灯	アプリ未使用
点灯（緑）	アプリ使用中
点灯（赤）	録画中
点灯（橙）	録画予約あり

底面

SSID・KEY
ネットワーク設定に必要な情報です。

リセットボタン
システムエラーの発生時やチューナ本体を初期化したいときに使用します。
AC アダプタと電源ケーブルが接続されている状態で、つまようじなどを使って 10 秒以上押し、無線 LAN ランプが緑に点滅したらリセット完了です。
※先端が鋭利なものを使ったり、強く押したりしないでください。

背面

miniB-CAS カード挿入口

LAN ポート
※10BASE-T/100BASE-TX

USB
※ハードディスク接続用です。

拡張用の USB です。現時点では使用できません。カバーをはずさないでください。

電源端子　アンテナ端子

はじめに

お使いのアンテナはデジタル放送に対応していますか？

- 地上デジタル放送を受信するには UHF アンテナが必要です。
- BS ／ CS デジタル放送を受信するには対応のパラボラアンテナの設置が必要です。

※マンションなどの集合住宅にお住まいの場合や、共同受信施設のときは、管理者または管理会社にお問い合わせください。
※ケーブルテレビで受信する場合、デジタル放送に対応していればアンテナの設置は不要です。放送方式がパススルー方式であることを確認してください。

チューナは以下の点に注意して設置してください

- デジタル放送の視聴は、本製品の電波が届く範囲内で可能です。
- 受信する場所によっては映像が乱れたり、受信できなかったりする場合があります。
- 電子レンジやラジオなどの電波を発生する機器の近くでは、映像が乱れる場合があります。
- 本体の上に物をのせないでください。放熱が不十分になり、故障や変形の原因になるおそれがあります。

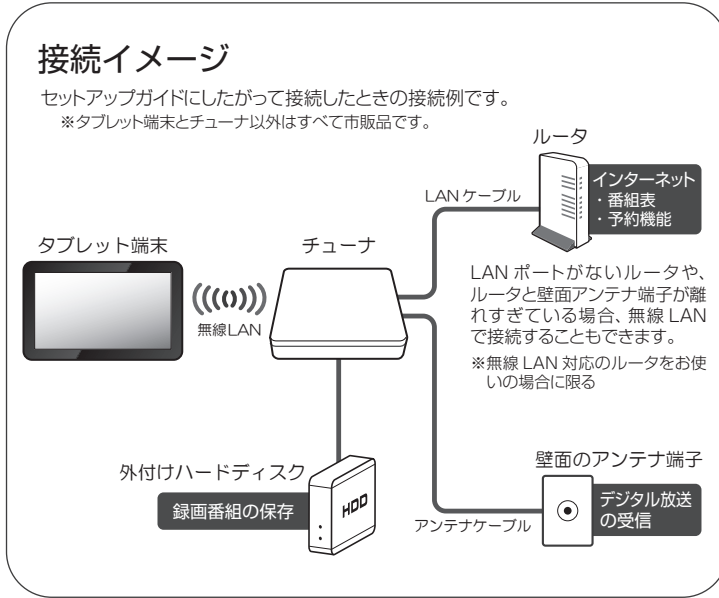
かならずチューナとルータを接続してください

番組表の表示、予約録画と遠隔予約（リモート予約）の登録は G ガイド . テレビ王国のホームページから行います。チューナとルータ（または無線ルータ）を接続してインターネットに接続できる環境にしてください。

録画機能の使用にはハードディスクが必要です

録画データを保存するために、外付けのハードディスク（市販品）を準備してください。
※ハードディスクを接続しない場合でも、デジタル放送の視聴はできます。

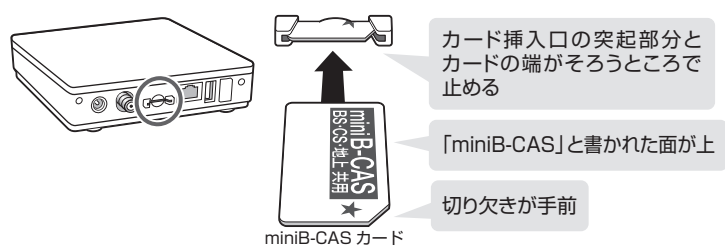
接続イメージ

セットアップガイドにしたがって接続したときの接続例です。
※タブレット端末とチューナ以外はすべて市販品です。

製品仕様

接続方式	IEEE 802.11a/b/g/n
周波数帯	2.4GHz 帯 /5.2GHz 帯
セキュリティ	WPA2-PSK(AES)
電源	AC100V 50Hz/60Hz
消費電力	最大 19W
受信放送	地上デジタルテレビ放送（ISDB-T）、ケーブルテレビ（C13 ～ C63）パススルー対応、BS デジタル放送（ISDB-S）、110 度 CS デジタル放送（ISDB-S）
インターフェース	地上デジタル /BS デジタル /110 度 CS デジタル混合アンテナ端子（F 型コネクタ）、miniB-CAS カード挿入口、LAN ポート（10BASE-T/100BASE-TX）、電源ポート（DC 入力）、USB（A タイプ）× 2（外付けハードディスクドライブ用 / 拡張用）
対応ハードディスク容量	最大 2.0TB
外形寸法	約 170 mm (W) × 150 mm (D) × 41.5 mm (H)（突起部を除く）
質量	約 360 g
使用温度範囲	温度：5℃～ 35℃ 湿度：10 ～ 80% RH（結露なきこと）

- 本製品は技術基準適合証明を受けた特定無線装置を内蔵しています。
- 本製品は、社団法人電波産業会（ARIB）が定める規格に準拠した仕様になっています。将来、規格の変更があった場合は、予告なしに仕様を変更する場合があります。
- この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。（ＶＣＣＩ－Ｂ）
- 仕様および外観は、性能向上やその他の理由で予告なく変更される場合があります。

1 チューナとケーブル類をつなぐ

1. miniB-CAS カードを台紙から取り出して、チューナ本体の挿入口にさし込みます。

⚠ 注意

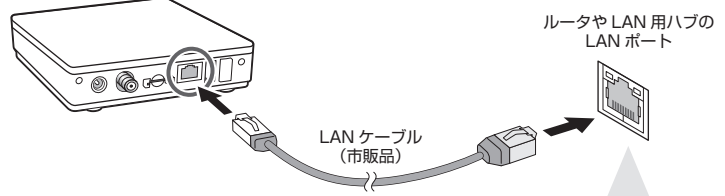
■miniB-CAS カードは、挿入方向が決まっています
かならず図の方向でさし込んでください。誤った方向でさし込むとデジタル放送の視聴ができません。また、無理に押し込むとカードが抜けなくなったり、チューナ本体が破損したりするおそれがあります。

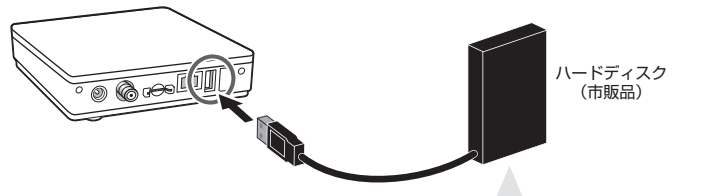
■miniB-CAS カードの取り出し方
抜くときは指でつまむか、ピンセットなどでカードを傷つけないようにして引き出してください。

✕さし込みすぎ

✕さし込み不足

✕向きが逆

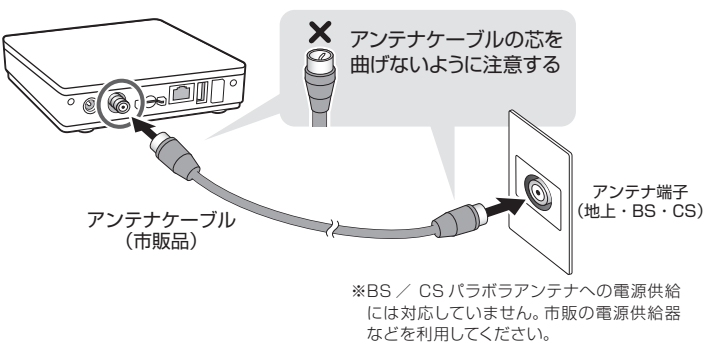
2. LAN ケーブルをルータや LAN 用ハブなどの LAN ポートと接続します。

ルータに LAN ポートがない場合や、ルータと壁面のアンテナ端子が離れすぎている場合
お使いのルータが無線 LAN 対応であれば、LAN ケーブルを使用せずに、無線 LAN で接続することができます。
くわしくは、接続と初回設定まで完了してから裏面の「チューナとルータを無線 LAN で接続するには、動作モードの変更が必要です。」を参照してください。
※番組表の表示や予約機能の使用にはインターネット環境が必要です。かならずチューナとルータを接続してください。

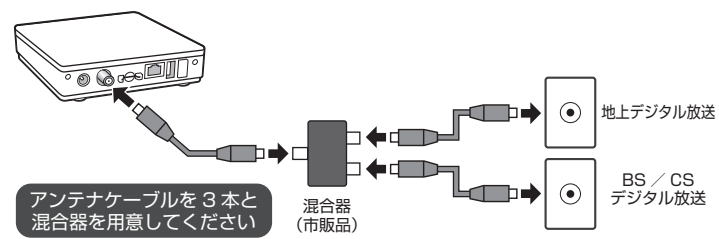
3. 外付けハードディスクを接続します。

ハードディスクを用意してください
録画には別売の外付けハードディスクを接続する必要があります。ハードディスクの接続は機器の取扱説明書の手順にしたがって行ってください。
使用できるハードディスクについては、下記の URL を参照してください。

対応ハードディスクについて：http://121ware.com/lt/hdd/

※対応ハードディスク以外での動作保証はいたしかねます。
※ハードディスクはチューナの電源プラグをはずしている状態で接続してください。
※はじめてチューナに接続するハードディスクは、アプリ上で初期化する必要があります。
※USB ハブで同時に複数のハードディスクを接続しての使用はできません。
※ハードディスクを接続しない場合でも、デジタル放送の視聴はできます。

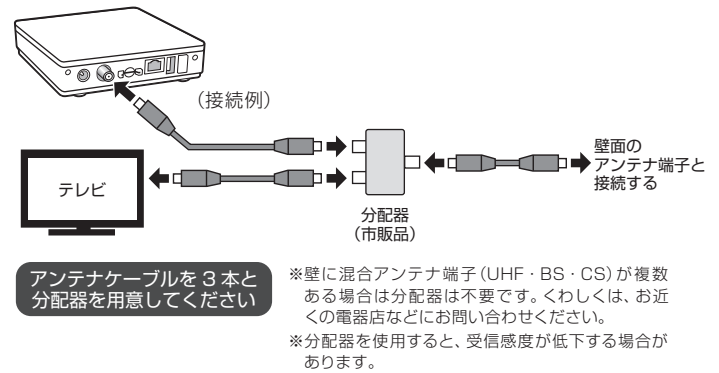
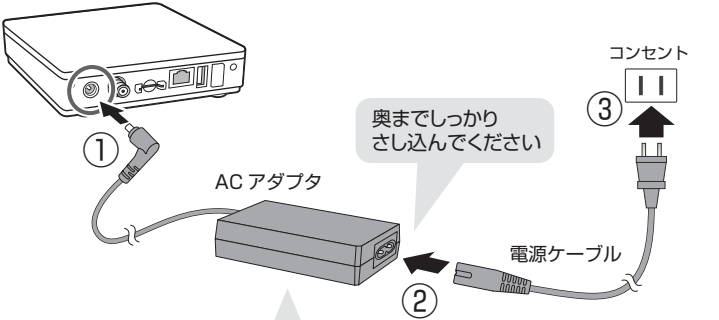
4. アンテナケーブルを接続します。

※BS ／ CS パラボラアンテナへの電源供給には対応していません。市販の電源供給器などを利用してください。

壁面のアンテナ端子が分かれている場合

壁面のアンテナ端子が、地上デジタル放送と BS ／ CS デジタル放送で分かれているときは、混合器（市販品）を使って接続してください。

テレビも同時に接続する場合

ご使用になる環境に合わせて、市販のアンテナケーブルや、分配器などを用意してください。

アンテナケーブルを 3 本と分配器を用意してください

※壁に混合アンテナ端子（UHF・BS・CS）が複数ある場合は分配器は不要です。くわしくは、お近くの電器店などにお問い合わせください。
※分配器を使用すると、受信感度が低下する場合があります。

5. AC アダプタと電源ケーブルを下記の順に接続します。

手順の途中でコンセントにつないでしまった場合
電源プラグとコンセントはかならず最後に接続してください。
先に接続してしまった場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、再度接続してください。

205000218-0
1506-0NUU000

2 ネットワークの設定

①タブレット端末のアプリ一覧 [アイコン] から［設定］をタップします。
②［Wi-Fi］をタップして、［ON］になっていることを確認します。
③「Wi-Fi ネットワーク」で、チューナ本体に記載されている「SSID」と同じ文字列を選びます。

④パスワードを入力して、［接続］をタップします。
※パスワードは、チューナ本体の「KEY」の文字列を入力してください。
⑤ネットワーク名の下に「接続済み」と表示されたら接続は完了です。

3 アプリの初回設定

①タブレット端末のアプリ一覧 [アイコン] をタップします。
②［テレビ設定］[アイコン] をタップします。
→デジタルテレビチューナの検索が開始されます。
③検索が完了したら［次へ］をタップします。
→チャンネルスキャン画面が表示されます。

チューナが見つからなかった場合
接続や設定の確認画面が表示されます。デジタルテレビチューナの接続やネットワークの設定に問題がないか確認してから次へ進んでください。解決できないときは、「テレビ設定」の取扱説明書を参照してください。

ハードディスクを接続している場合
ハードディスクの初期化のメッセージが表示されます。［OK］をタップして初期化を開始してください。

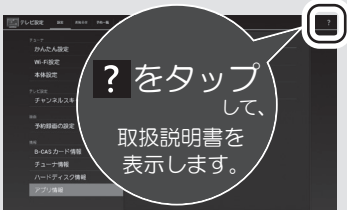
④［ご利用の地域］をタップして、地域を選択します。
⑤［スキャンする放送波］をタップして、［すべて］を選びます。
⑥［スキャン開始］をタップします。
⑦メッセージを確認して［OK］をタップします。
→チャンネルスキャンが開始されます。
⑧スキャン結果が表示されたら、［設定完了］をタップします。
→「テレビ設定」は終了してホーム画面に戻ります。設定は以上で完了です。

⚠注意

チューナとルータを無線 LAN で接続するには、動作モードの変更が必要です。
初回設定を完了してから、動作モードを「ステーションモード」に変更する必要があります。くわしい操作方法は「テレビ設定」の取扱説明書（画面で見るマニュアル）を参照してください。

デジタル放送の視聴はタブレット端末のアプリ一覧の「DiXiM」から、番組表や予約録画の登録、チューナについての設定は「テレビ設定」から行ってください。

テレビ設定の取扱説明書

デジタル放送の受信や、テレビ設定のくわしい内容は「テレビ設定」の取扱説明書を参照してください。

安全上のご注意

本書では、本製品を安全にお使いいただくために、かならず守っていただきたい事項を以下の表示と図記号で説明しています。

警告表示
誤った取り扱いによって生じる危害や損害の程度を以下の表示で分類しています。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号
守っていただく内容の種類を示しています。
⊘：一般禁止、その行為を禁止します。 ❗：使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

⚠警告

⊘ **本製品の分解・改造は絶対にしない。**
火災や故障および感電やけがの原因になるおそれがあります。また、無線機器を分解して使用すると、法律で罰せられることがあります。

⊘ **以下のような場所には設置しない。**
- 直射日光が当たったり高温になったりする場所
- 熱器具の近くなどで高温になる場所
- 風通しの悪い場所
- 水や湯気などがかかる場所
- ほこりや、湿気、油煙の多い場所
- 可燃性、爆発性、引火性のガスがある場所
- 粉じんが発生する場所
- 振動や衝撃のある場所
- 傾斜しているなどで不安定な場所
- 船舶や自動車などの乗り物の中
- 小さなお子様の手が届く場所

火災や故障、感電および転倒や落下などによるけがの原因になるおそれがあります。

❗ **miniB-CAS カードを本体からはずしている場合は、カードを乳幼児の手の届かない場所に保管する。**
誤って飲み込むと窒息するおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

❗ **かならず家庭用コンセント（100V）で使用する。**
たこ足配線などコンセントや配線器具の定格を超える使い方をすると、発熱して火災の原因になるおそれがあります。

❗ **何か異常が起こったときに、すぐに AC アダプタと電源ケーブルを抜けるように設置する。**
異常が発生したときに通電し続けると、火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。

❗ **以下の場合は、本体に触れずに速やかに電源プラグをコンセントから抜く。**
- 異音、異臭、煙が出ているとき
- 本体および AC アダプタ、電源ケーブルが故障、破損しているとき
- 内部に液体や異物が入ったとき
- AC アダプタが異常に熱いとき

そのまま使用すると、火災および感電の原因になるおそれがあります。電源プラグを抜くときは、やけどをしないように注意してください。

⊘ **本製品を濡らしたり、濡れた手で触れたりしない。**
故障および感電の原因になるおそれがあります。

❗ **故障や事故によるけがを防ぐため、以下のことを守る。**
- 内部に指や物を入れない
- 熱器具に近づけたり、破損させたりしない
- 水につけたり、濡らしたりしない
- 重い物をのせたり、強い衝撃を与えたりしない
- 上に物を被せたりして本体の通風孔をふさがない

火災や故障および感電やけがの原因になるおそれがあります。

⊘ **他者の安全を守るため、以下のような場所では使用しない。**
- 心臓ペースメーカーや補聴器の近く
- 病院内や医療用電子機器がある場所
- 無線機器の使用が禁止されている場所
- 火災報知機や自動ドアなど自動制御機器の近く
- 高精度の制御や微弱な信号を扱う機器の近く

本製品の電波の影響を受け、誤作動による事故の原因になるおそれがあります。

❗ **AC アダプタと電源ケーブルの取り扱いは以下の事項を守る。**
- 本製品に付属の AC アダプタと電源ケーブルを使用する
- 電源プラグをコンセントに確実にさし込む
- 抜くときは、かならず電源プラグ部分を持つ
- プラグ部分のほこりや汚れは定期的に掃除する

誤った取り扱いをすると、火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。

⊘ **AC アダプタや電源ケーブルを傷つけたり加工したりしない（無理に引っ張る・曲げる・ねじる、重い物をのせる、ドアなどで挟むなど）。また、傷んだ場合は使用しない。**
火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。

⊘ **使用中は本体や AC アダプタ、電源ケーブルに長時間触れない。**
やけどの原因になるおそれがあります。

⊘ **雷が鳴りだしたら、本機や本機に接続されているケーブル類（AC アダプタ、USB ケーブルなど）に触れたりしないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。**
落雷による感電のおそれがあります。

❗ **屋外アンテナの設置や工事は専門業者に依頼する。**
けがや感電の原因になるおそれがあります。

⚠注意

⊘ **本製品の AC アダプタと電源ケーブルを別の用途に使用しない。また、別の製品の AC アダプタと電源ケーブルを本製品に使用しない。**
火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。

❗ **本製品を移動するときは、接続している配線をすべてはずす。また、輸送中にぶつけたり落としたりしないように注意する。**
転倒や落下により故障やけがの原因になったり、ケーブルの端子が破損したりするおそれがあります。

❗ **長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく。**
プラグ部分にほこりがたまると、火災および感電の原因になるおそれがあります。

❗ **本体内部の掃除は 121 コンタクトセンターに依頼する。**
内部にほこりがたまると、火災および感電の原因になるおそれがあります。3 年に 1 回を目安に内部の清掃を依頼してください。

使用上のご注意

本書について

- 本書では「ワイヤレステレビチューナ」をチューナと表記しています。
- 本書では地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送を総称して「デジタル放送」と表記しています。
- 本書では 110 度 CS デジタル放送を「CS デジタル放送」と表記しています。
- 本書で使用している画像は、実際とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、およびすべてを無断で転載することは禁じられています。

チューナについて

- 本体に貼ってあるシールは、はがさないでください。
- BS ／ CS パラボラアンテナへの電源供給には対応していません。市販の電源供給器などを利用してください。
- データ放送の受信には対応していません。
- 有料チャンネルを視聴するには各放送局との契約が必要です。契約については、各放送局にお問い合わせください。
- お使いの環境にインターネットがない場合、番組表と予約録画、遠隔予約（リモート予約）がご利用いただけません。
- Bluetooth および USB 接続の音声機器への出力には対応していません。
- 本製品は 2.4GHz 帯の周波数を使用しているため、電子レンジ等と電波干渉を起こす場合があります。
- 本製品は日本国内での使用を前提に設計されています。故障や感電などの事故を引き起こすおそれがありますので海外では使用しないでください。
- 本製品は一般家庭用に設計・製造されています。人命に関わったり、高度な信頼性が必要な設備や機器などへの組み込みや制御などへの使用は意図されていません。
- 本製品および本製品のパッケージ（緩衝材を含む）を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の条例や規則にしたがってください。

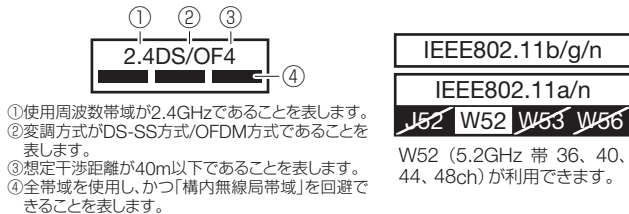
miniB-CAS カードについて

- miniB-CAS カードは番組の著作権保護などのためデジタルテレビ放送の視聴に必要な IC カードです。miniB-CAS カードがないとデジタル放送を見ることができません。
- miniB-CAS カードは必要のないかぎり本体から抜かないでください。
- 本製品が通電状態でカードを抜くと、デジタル放送を受信できなくなる場合があります。miniB-CAS カードを本製品から取り出す必要があるときは、本製品の電源プラグをコンセントから抜いた後に取り出してください。また、取り付けるときは、miniB-CAS カードをさしてから電源プラグを接続してください。
- miniB-CAS カードを紛失・破損などした場合は、miniB-CAS カードの台紙に記載しているカスタマーセンターにお問い合わせください。

電波について

- 本製品に同梱の無線 LAN に関するご注意（シール）をよくお読みください。
- 本製品は 2.4GHz 帯および 5.2GHz 帯の電波を使用しています。本製品の使用周波数帯では、同じ周波数の無線機器や、電子レンジなどの電子機器、工場、製造ラインなどで使用されている移動帯識別用の構内無線局および特定小電力局が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉が発生した場合、速やかに本製品の使用を中止してください。
- 本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉が発生した場合など、何かお困りのときは、121 コンタクトセンターへお問い合わせください。
- 本製品と通信機器との通信距離は、使用環境（建物の構造・材質・障害物、設置状況、電波状況など）により異なります。また、映像にノイズが入ったり、通信できなくなったりする可能性があります。
- IEEE802.11a/n（W52）は 5.2GHz 帯の周波数を使用しています。
- IEEE802.11a/n（W52）の電波を屋外で使用することは電波法で禁止されています。屋内で使用してください。

①使用周波数帯域が2.4GHzであることを表します。
②変調方式がDS-SS方式/OFDM方式であることを表します。
③想定干渉距離が40m以下であることを表します。
④全帯域を使用し、かつ「構内無線局帯域」を回避できることを表します。

W52（5.2GHz 帯 36、40、44、48ch）が利用できます。

商標

- Android は Google Inc. の商標です。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- DigiOn および DiXiM は株式会社デジオンの登録商標です。
- iEPG および iEPG デジタル、iCommand、テレビ王国はソネットエンタテインメント株式会社の登録商標です。
- 「G ガイド . テレビ王国」は、ソネットエンタテインメント株式会社と株式会社インタラクティブ・プログラム・ガイドが共同で運営する地上デジタル放送に対応したテレビ番組情報サービスです。
- 本ソフトウェアはソネットエンタテインメント株式会社の iCommand 技術に準拠しています。iCommand はソネットエンタテインメント株式会社（サービス名称：So-net）が提供している iEPG 対応番組サイト「テレビ王国」のリモート予約サービスです。
- その他の本書に記載している社名および商品名は、各社の商標、登録商標、および商品です。
- 本書では (R) および TM などの商標マークは省略させていただいております。